

## 機密保持契約書（案）

五泉市（以下「発注者」という。）と （以下「受注者」という。）との間に、令和8年2月 日に締結した「五泉市学校給食費管理システム導入業務委託」について、以下の条項により機密保持契約を締結する。

### 第1条（本契約の目的）

本契約は、受注者が原契約（発注者及び受注者間の業務委託契約等をいう。以下同じ。）の履行に伴い知り得た発注者の機密情報を守秘するため、受注者の守秘義務の履行手続等を定めることを目的とする。

### 第2条（機密情報の定義）

本契約において「機密情報」とは、発注者から受託した業務の遂行によって文書又は口頭的手段を問わず受注者が取得した一切の情報（個人情報、資料、ノウハウ、アイデア、営業、経営及び情報システムに関する情報等）をいう。ただし、これらの情報うち、既に公知となっている情報及び公表することを発注者が承諾した情報は、除くのものとする。

### 第3条（禁止事項）

受注者は、機密情報を保持するため、発注者の承諾なしに、次に掲げる行為をしてはならない。

- （1）機密情報を受注者の担当者以外の者又は発注者の承諾を得て再委託された第三者の担当者以外の者に開示すること。
- （2）機密情報を原契約を履行する以外の目的に使用すること。
- （3）機密情報を複写し、又は複製すること。
- （4）機密情報を廃棄し、又は残置すること。

### 第4条（機密情報の管理）

受注者は、機密情報の保存又は搬送にあたっては、紛失、き損、漏洩又は盗難が起こらないように適切に管理しなければならない。

### 第5条（再委託）

受注者は、原契約を履行するための業務のうち機密情報を取り扱う業務を第三者に再委託するときは、あらかじめ書面で発注者に届け出なくてはならない。また、本契約と同等の契約書を受注者と当該第三者との間において締結しなければならない。

#### 第6条（事故処理）

受注者は、機密情報の紛失、漏洩等の事故が発生した時は、発注者の担当者に直ちに連絡し、その指示に従い処理しなければならない。

#### 第7条（機密情報の返還等）

受注者は、発注者が原契約に基づく業務の終了を確認した後、当該業務において取り扱った発注者所有の一切の情報を直ちに返還するとともに、当該業務に関する情報で発注者に返還を要しないものがあるときは、これを抹消し、又は他に漏洩しないよう廃棄しなければならない。

#### 第8条（守秘義務の期間）

原契約に伴う機密情報の守秘義務は、原契約に基づく業務終了後も継続するものとする。

#### 第9条（賠償責任）

受注者が機密保持の遵守事項に違反し、その結果、発注者に損害を与えたときは、受注者は損害賠償の責を負う。

#### 第10条（協議事項）

本契約に定めるもののほか、この契約について必要な事項は、発注者及び受注者双方協議して定めるものとする。

本契約の締結を証するために本書を2通作成し、発注者、受注者各自記名捺印のうえ各1通を保有する。

令和8年 月 日

（発注者） 新潟県五泉市太田1094番地1  
五泉市  
五泉市長 田邊 正幸

（受注者）